

いしゃか NEWS

vol.13
May 20 2018



●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<https://www.hino2.tokyo/>



一つの家族になりましょう

4月になると、学校は新学期、新入生、クラス替えなどがあり新しい友達作りの始まりの時期です。ボーイスカウトも同じように3月11日に上進式、入団式、ちかいの式を行いました。小学校一年生から大学生までのスカウトがいます。そして新しい班長・組長や次長が誕生しました。新しい仲間が出来て夏キャンプに向かって皆でチーム作りを行っていきます。お兄ちゃんスカウト、お姉ちゃんスカウトは、新入団したスカウト達の世話をお願いしますね。

聖書に「一つの体、多くの部分」(コ

リントの信徒への手紙12章.26)と言うたとえ話があります。「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊(とうと)ばれば、すべてが共に喜ぶのです」とあります。私はこのたとえ話が大好きです。

ボーイスカウトには組や班があります。班員・組員の一人が苦しんでいたら、皆で協力して助け合う。一人のスカウトが章を取ったら、皆で喜ぶ。

スカウトには、幼いものをいたわります。互いに助け合います。友情にあつい。親切である。とあります。これは

指導者もスカウトも出来れば保護者の方々も含めた実行する「ちかい」であり「やくそく」です。

皆一緒にボーイスカウト日野第2団の家族の一員として心がけ、一人一人を大切に一つ一つの家族として、共に汗を流し、共に喜び、希望を持って新しい年度を歩んでいきましょう。

平成30年4月
ボーイスカウト日野2団
団委員長 鈴木英彦

ベンチャー隊 北八ヶ岳訓練キャンプ 感想文

2018 北八感想

上田 晟生

今回は3年目の北八でした。3回目ということで変化があったとすれば、いつもより余裕があったことでしょうか。でもその余裕が緊張感を緩めてしまった原因なのだと思います。僕は準備段階からいくつかの不備がありました。リーダーに指摘されなければ無事に帰って来られたか疑問に思えるほどです。そういう意味で今回の北八は僕にとって、反省の北八でした。3回目だから余裕だと思うのではなく、3回目だからこそ今までより進化した北八にしようとしてより緊張感を持って挑むべきでした。具体的に挙げればキリがない反省点をひとつずつ見直して来年に繋げたいと思います。

しかしながら今回は初めて晴天の天狗岳の頂上に立つことが出来ましたし、西天狗からスライディングするいわゆる「西天すべり」も出来ました。小学生の時に動画で見せられて、憧れていた西天すべりができてとても嬉しく思います。来年も雲ひとつない快晴の中で天狗に登れますように。そしてより進化した北八にできるように頑張ります。

反省だらけの北八

築城 希

私は今回3年目の北八の参加となりました。今年は前回、前々回と比べて5日間とも天気が良く、快晴でとても恵まれた年だった。私は例年通り食当係で北八の献立を作る係だったが、昨年の反省文と献立を無くしてしまい、献立の不備が沢山ありボロボロだった。しらびそ小屋での料理では鍋料理が中心だったが昨年と同様、全く料理が上手くなっておらずもっと料理を学ぼうと思った。1日目の荷揚げでは昨年より

か荷物は重かったが難なく登れた。3日目の天狗アタックは天候は快晴で良かったが新雪がほとんどなく、中山峠では特にガリガリでとても危険な状態だったが指導者の的確な指導で滑落者が出ずに登ることが出来て良かった。昨年は天候が悪くて東天狗までしか行けなかったが、今回は西天狗まで行くことができ、それに快晴で町や色々な山々を見ることができとても感動した。

その後昼飯の為西天狗の山頂からコルに向かって滑って行くのがとても楽しかった。

4日目の奉仕では雪かきと薪運びをしてそのお礼としてマタタビとブルーベリーのジャムを貰いとても美味しかった。今年はコンディショ的には良かったが、食当としての計画が甘かったので来年は今年の事を活かして、今年以上に成長した北八にしたい。

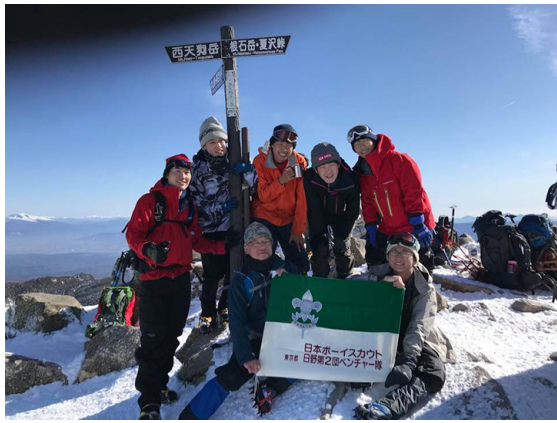


北八の感想

石塚 大和

私は今回の北八ヶ岳訓練は3回目ということで、不安でも楽しみでもありました。天気に恵まれ指導者にも恵まれて、無事に天狗岳に登って帰ってきました。宮さんや市毛さんに怒られたりしてストレスがたまっていたのですが、それを払拭するような頂上の景色と4日目、5日目のスケジュールでした。初めて本沢温泉に入れたことも今回の北八では大きいです。楽しかったです。





新入団・上進スカウト紹介

ビーバー隊



カブ隊





ボーイ隊



平成30年度 各隊指導者紹介





**活動
便利**

第17回日本スカウトジャンボリー 参加スカウトの紹介

第17回日本スカウトジャンボリーが2018年8月4日から10日まで、石川県珠洲市で開催されます。場所は地図のように能登半島の先です。13,000人が集まります。オーストラリア、台湾、マカオ、ネパールなどのアジア・太平洋地域のスカウト達も1000人程度参加します。

8月7日火曜日の午前中は信仰奨励のプログラムがあります。10時30分からカトリックスカウトが集まり、合同ミサを多目的グラウンドで行います。私(鈴木英彦)もお手伝いで参加予定です。

東京から車だと約520kmです。日本ジャンボリーは4年一回開催されます。日野2団からも4名の代表スカウトが新多磨地区の仲間約70名と一緒に7泊8日のキャンプ生活を送ります。日野2団からは熊田ボーイ隊長も参加します。

スカウト達はどのような経験をして、この写真の顔がどのように変わるか楽しみです。

(鈴木英彦)

